

多可 子育てタイムズ

2013.3.1 24号
平成25年

発行：多可町教育委員会
〒679-1134 多可郡多可町中区茂利20
☎0795-32-2385
E-mail kodomo@town.taka.lg.jp



昔あそび大会



卒業証書漉ぎ



なわとび（休み時間の1コマ）



北播小学生駅伝カーニバル
6年生女子チーム

おもな内容

- 教育委員会特集
「学校規模適正化について」
- びっくあっぷ学校園
- こども憲章
- あったかトピック

など

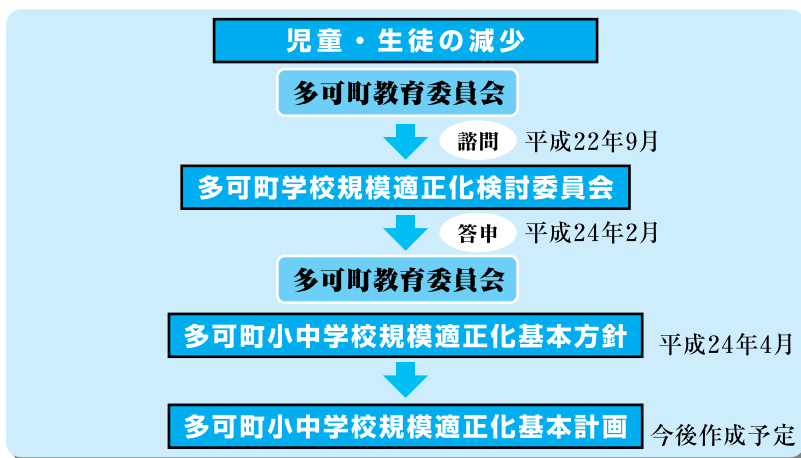
多可町小中学校規模適正化 基本方針の主な内容

全国的に少子化が進む中であって、多可町においても児童生徒の減少に伴い、小中学校の小規模化が進行し、児童生徒の社会性を育む上での教育環境や学校運営など様々な面の影響が心配されます。

多可町教育委員会では、平成22年9月に学識経験者や区長会、PTA、学校関係者などからなる「多可町学校規模適正化検討委員会」に、多可町小中学校の適正規模と適正配置について諮問しました。ここで、約2年間にわたって審議され、保護者を対象に実施された意識調査などの結果も考慮しながら平成24年2月に「多可町小中学校の規模及び配置の適正化について」が答申されました。

将来を担う子どもたちにとって、より良い教育条件を整備し、最適な教育環境を作るため、検討委員会の

答申を尊重しながら、「多可町小中学校規模適正化基本方針」を定めました。ここでは、この基本方針の主な内容を説明します。



小中学校児童生徒数の 推移見込み

次の表は現在多可町に在住する子どもたちの人数から作成した今後の小学校の規模の推移見込みです。今後転入や転出なども考えられ、あくまで見込みのものです。

これを見ると多可町の小学校の児童数は、平成23年度の1,380人から、5年後の平成28年度には1,083人となり、297人の減少になります。

地区別（平成23年度と平成28年度を比較）で見ると中区の児童数は597人から457人（△140人、△23%）、加美区は426人から315人（△111人、△26%）、八千代区は357人から311人（△46人、△13%）となっており、学級数は平成23年度の52に対して、平成28年度には47となり、5学級減少します。

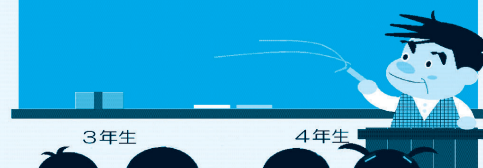
また、複式学級については八千代西小学校に平成26年度から1つでき、

平成28年度には2つになります。八千代北小学校も平成29年度から複式学級が1つできます。

複式学級とは？

☆児童生徒数が少ないために、2つの学年を1つの教室に編制する学級のこと

- *兵庫県の場合、二つの学年の児童生徒数が合わせて14人以内の場合に1つの学級となります。
- *ただし、第1学年を含む場合は、8人以内



またクラスの中で男女どちらか1人のところもあります。八千代北小学校の今年度の1年生は合計8人ですが、そのうち女子は1人です。平成29年度には、そうした学年が4学年できることとなります。

小学校児童数・学級数推計表

小学校名	学年	H23年度				H24年度				H25年度				H26年度				H27年度				H28年度				H29年度				H30年度			
		男	女	児童計	学級数	男	女	児童計	学級数	男	女	児童計	学級数	男	女	児童計	学級数	男	女	児童計	学級数	男	女	児童計	学級数	男	女	児童計	学級数	男	女	児童計	学級数
中町南	1年	34	34	68	2	27	23	50	2	27	26	53	2	22	24	46	2	22	22	44	2	23	19	42	2	26	21	47	2	24	18	42	2
	2年	27	33	60	2	34	33	67	2	27	23	50	2	27	26	53	2	22	24	46	2	22	22	44	2	23	19	42	2	26	21	47	2
	3年	34	26	60	2	27	35	62	2	34	33	67	2	27	23	50	2	27	26	53	2	22	24	46	2	22	22	44	2	23	19	42	2
	4年	33	35	68	2	34	25	59	2	27	35	62	2	34	33	67	2	27	23	50	2	27	26	53	2	22	24	46	2	22	22	44	2
	5年	31	36	67	2	34	35	69	2	34	25	59	2	27	35	62	2	34	33	67	2	27	23	50	2	27	26	53	2	22	24	46	2
	6年	39	43	82	3	30	34	64	2	34	35	69	2	34	25	59	2	27	35	62	2	34	33	67	2	27	23	50	2	27	26	53	2
	計	198	207	405	13	186	185	371	12	183	177	360	12	171	166	337	12	159	163	322	12	155	147	302	12	147	135	282	12	144	130	274	12
中町北	1年	13	16	29	1	16	13	29	1	15	16	31	1	10	11	21	1	10	15	25	1	12	9	21	1	11	13	24	1	11	9	20	1
	2年	17	17	34	1	12	16	28	1	16	13	29	1	15	16	31	1	10	11	21	1	10	15	25	1	12	9	21	1	11	13	24	1
	3年	12	10	22	1	18	18	36	1	12	16	28	1	16	13	29	1	15	16	31	1	10	11	21	1	10	15	25	1	12	9	21	1
	4年	24	17	41	2	12	10	22	1	18	18	36	1	12	16	28	1	16	13	29	1	15	16	31	1	10	11	21	1	10	15	25	1
	5年	15	16	31	1	24	17	41	2	12	10	22	1	18	18	36	1	12	16	28	1	16	13	29	1	15	16	31	1	10	11	21	1
	6年	16	19	35	1	15	16	31	1	24	17	41	2	12	10	22	1	18	18	36	1	12	16	28	1	16	13	29	1	15	16	31	1
	計	97	95	192	7	97	90	187	7	97	90	187	7	83	84	167	6	81	89	170	6	75	80	155	6	74	77	151	6	69	73	142	6
松井	1年	33	13	46	2	11	18	29	1	13	16	29	1	14	11	25	1	12	13	25	1	12	13	25	1	9	8	17	1	11	12	23	1
	2年	19	11	30	1	33	12	45	2	11	18	29	1	13	16	29	1	14	11	25	1	12	13	25	1	12	13	25	1	9	8	17	1
	3年	18	23	41	2	19	11	30	1	33	12	45	2	11	18	29	1	13	16	29	1	14	11	25	1	12	13	25	1	12	13	25	1
	4年	26	16	42	2	18	23	41	2	19	11	30	1	33	12	45	2	11	18	29	1	13	16	29	1	14	11	25	1	12	13	25	1
	5年	26	18	44	2	26	14	40	1	18	23	41	1	19	11	30	1	33	12	45	2	11	18	29	1	13	16	29	1	14	11	25	1
	6年	21	19	40	1	26	18	44	2	26	14	40	1	18	23	41	1	19	11	30	1	33	12	45	2	11	18	29	1	13	16	29	1
	計	143	100	243	10	133	96	229	9	120	94	214	7	108	91	199	7	102	81	183	7	95	83	178	7	71	79	150	6	71	73	144	6
杉原谷	1年	20	9	29	1	21	7	28	1	9	14	23	1	11	12	23	1	9	5	14	1	7	13	20	1	7	7	14	1	9	11	20	1
	2年	12	11	23	1	20	9	29	1	21	7	28	1	9	14	23	1	11	12	23	1	9	5	14	1	7	13	20	1	7	7	14	1
	3年	18	15	33	1	12	11	23	1	20	9	29	1	21	7	28	1	9	14	23	1	11	12	23	1	9	5	14	1	7	13	20	1
	4年	15	21	36	1	18	15	33	1	12	11	23	1	20	9	29	1	21	7	28	1	9	14	23	1	11	12	23	1	9	5	14	1
	5年	15	16	31	1	15	21	36	1	18	15	33	1	12	11	23	1	20	9	29	1	21	7	28	1	9	14	23	1	11	12	23	1
	6年	16	15	31	1	15	16	31	1	15	21	36	1	18	15	33	1	12	11	23	1	20	9	29	1	21	7	28	1	9	14	23	1
	計	96	87	183	6	101	79	180	6	95	77	172	6	91	68	159	6	82	58	140	6	77	60	137	6	64	58	122	6	52	62	114	6
八千代南	1年	18	11	29	1	16	17	33	1	20	16	36	2	20	13	33	1	15	20	35	1	18	19	37	2	13	7	20	1	10	17	27	1
	2年	15	5	20	1	18	11	29	1	16	17	33	1	20	16	36	1	20	13	33	1	15	20	35	1	18	19	37	1	13	7	20	1
	3年	21	13	34	1	16	5	21	1	18	11	29	1	16	17	33	1	20	16	36	1	20	13	33	1	15	20	35	1	18	19	37	1
	4年	19	21	40	2	21	13	34	1	16	5	21	1	18	11	29	1	16	17	33	1	20	16	36	1	20	13	33	1	15	20	35	1
	5年	22	15	37	1	19	22	41	1	21	13	34	1	16	5	21	1	18	11	29	1	16	17	33	1	20	16	36	1	20	13	33	1
	6年	20	14	34	1	22	15	37	1	19	22	41	1	21	13	34	1	16	5	21	1	18	11	29	1	16	17	33	1	20	16	36	1
	計	115	79	194	7	112	83	195	6	110	84	194	7	111	75	186	6	105	82	187	6	107	96	203	7	102	92	194	6	96	92	188	6
八千代北	1年	5	13	18	1	7	1	8	1	4	9	13	1	1	7	8	1	1	6	7	1	4	3	7	1	6	1	7	1	1	3	4	1
	2年	9	8	17	1	5	13	18	1	7	1	8	1	4	9	13	1	1	7	8	1	1	6	7	1	4	3	7	1	6	1	7	1
	3年	5	2	7	1	9	8	17	1	5	13	18	1	7	1	8	1	4	9	13	1	1	7	8	1	1	6	7	1	4	3	7	1
	4年	11	9	20	1	5	2	7	1	9	8	17	1	5	13	18	1	7	1	8	1	4	9	13	1	1	7	8	1	1	6	7	1
	5年	6	7	13	1	11	9	20	1	5	2	7	1	9	8	17	1	5	13	18	1	7	1	8	1	4	9	13	1	1	7	8	1
	6年	10	8	18	1	6	7	13	1	11	9	20	1	5	2	7	1	9	8	17	1	5	13	18	1	7	1	8	1	4	9	13	1
	計	46	47	93	6	43	40	83	6	41	42	83	6	31	40	71	6	27	44	71	6	22	39	61	6	23	27	50	5	17	29	46	5
八千代西	1年	7	6	13	1	8	4	12	1	1	1	2	1	3	5	8	1	3	2	5	1	3	4	7	1	1	4	5	1	3	1	4	1
	2年	8	5	13	1	7	6	13	1	8	4	12	1	1	1	2	1	3	5	8	1	3	2	5	1	3	4	7	1	1	4	5	1
	3年	6	5	11	1	9	5	14	1	7	6	13	1	8	4	12	1	1	1	2	1	3	5	8	1	3	2	5	1	3	4	7	1
	4年	4	9	13	1	6	5	11	1	9	5	14	1	7	6	13	1	8	4	12	1	1	1	2	1	3	5	8	1	3	2	5	1
	5年	8	4	12	1	4	9	13	1	6	5	11	1	9	5	14	1	7	6	13	1	8	4	12	1	1	1	2	1	3	5	8	1
	6年	4	4	8	1	8	4	12	1	4	9	13	1	6	5	11	1	9	5	14	1	7	6	13	1	8	4	12	1	1	1	2	1
	計	37	33	70	6	42	33	75	6	35	30	65	6	34	26	60	5	31	23	54	5	25	22	47	4	19	20	39	4	14	17	31	4
合計	732	648	1,380	55	714	606	1,320	52	681	594	1,275	51	629	550	1,179	48	587	540	1,127	48	556	527	1,083	48	500	488	988	45	463	476	939	45	

■は複式学級となる見込みのところ

■は男女どちらか1名となるところ

次の表は今後の中学校の規模の推移見込みです。多可町の中学校の生徒数は、平成23年度の747人から、5年後の平成28年度には670人となり、77人の減少になります。

地区別（平成23年度と平成28年度を比較）で見ると、中区の生徒数は353人から289人（△64人・△18%）、加美区は199人から230人（+4人・+2%）、八千代区は195人から178人（△17人・△9%）となっており、中区の減少率が最も大きくなっています。この時点では、加美区でわずかに増加がみられるものの、平成36年度までをみると、すべての校区で6学級以下となり、八千代区では平成35年度に1学年1学級のところが1つ、36年度には2学年が1学級という状況になります。



中学校生徒数・学級数推計表

中学校名	学年	H23年度		H24年度		H25年度		H26年度		H27年度		H28年度		H29年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
中町	1年	105	3	115	3	95	3	110	3	81	3	98	3	95	3
	2年	134	4	105	3	115	3	95	3	110	3	81	3	98	3
	3年	114	3	132	4	105	3	115	3	95	3	110	3	81	3
	計	353	10	352	10	315	9	320	9	286	9	289	9	274	9
加美	1年	65	2	70	2	75	2	76	2	74	2	53	2	74	2
	2年	59	2	65	2	70	2	75	2	76	2	74	2	53	2
	3年	75	2	58	2	65	2	70	2	75	2	76	2	74	2
	計	199	6	193	6	210	6	221	6	225	6	203	6	201	6
八千代	1年	74	2	60	2	62	2	74	2	52	2	52	2	60	2
	2年	57	2	74	2	60	2	62	2	74	2	52	2	52	2
	3年	64	2	56	2	74	2	60	2	62	2	74	2	52	2
	計	195	6	190	6	196	6	196	6	188	6	178	6	164	6
合計		747	22	735	22	721	21	737	21	699	21	670	21	639	21

中学校名	学年	H30年度		H31年度		H32年度		H33年度		H34年度		H35年度		H36年度	
		生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数	生徒数	学級数
中町	1年	79	2	84	3	67	2	69	2	63	2	71	2	62	2
	2年	95	3	79	2	84	3	67	2	69	2	63	2	71	2
	3年	98	3	95	3	79	2	84	3	67	2	69	2	63	2
	計	272	8	258	8	230	7	220	7	199	6	203	6	196	6
加美	1年	57	2	52	2	48	2	39	1	45	2	31	1	43	2
	2年	74	2	57	2	52	2	48	2	39	1	45	2	31	1
	3年	53	2	74	2	57	2	52	2	48	2	39	1	45	2
	計	184	6	183	6	157	6	139	5	132	5	115	4	119	5
八千代	1年	53	2	51	2	49	2	47	2	51	2	32	1	35	1
	2年	60	2	53	2	51	2	49	2	47	2	51	2	32	1
	3年	52	2	60	2	53	2	51	2	49	2	47	2	51	2
	計	165	6	164	6	153	6	147	6	147	6	130	5	118	4
合計		621	20	605	20	540	19	506	18	478	17	448	15	433	15

は1学年1学級となる見込みのところ

小規模校のよい点は？

- ★児童の個性に応じた指導ができ、学習の密着度が高い。
- ★一人ひとりの果たす役割が大きく、自覚と責任感を高めることができやすい。
- ★教職員が児童一人ひとりの特性や家庭環境を把握し、きめ細かな指導ができやすい。
- ★全校が一体となった活動がしやすい。
- ★地域総ぐるみで体験豊かな教育活動ができやすい。

小規模校の問題点は？

- ★効果的なクラス替えができないため、生活面において人間関係が固定化しやすい。
- ★友人が増えないなど、自己形成に必要な集団生活ができにくい。
- ★個と集団の学び合いや、競争心が育ちにくい。
- ★運動会などの学校行事において種目や演目に限界があり、行事としてのダイナミックさに欠ける。
- ★中学校では多様な部活動が成立しない、すべての教科に対応できる専門の教員が配置しにくい。など

答申に基づく学校規模

子どもたちにとって望ましい教育環境を提供するためには、「クラス替えができることの効果」や「子どもたちの適度な切磋琢磨が必要である」という観点からも、小学校においてはクラス替えが可能な1学年2学級以上（6学年で12学級以上）の、中学校においてはクラス替えが可能であり、かつ各教科で専門の教員を配置しやすい1学年3学級以上（3学年で9学級以上）の学校規模が望ましいとされています。

しかし、平成23年度においても小学校では7校中6校に1学年1学級の単学級があり、平成26年度以降は複式学級がある学校が出てきます。

また、中学校では、平成23年度で2校がすでに1学年2学級となっており、平成33年度以降は単学級の学校も出てきます。

こうした多可町の喫緊の状況から、答申では次のように示されました。

小学校	複式学級が生じないこと
中学校	1学年2学級以上が確保できること

答申では、こうした学校規模が維持できない状況が生じる場合には、「地域の学校教育のあり方を考える会」を設置することとしています。

答申に基づく学校の配置

答申では、学校の配置について次のように示されました。

① 小学校

通学距離は、徒歩により概ね4 km以内。ただし、通学距離が4 kmを超える場合には、バスなどの通学手段を検討。

② 中学校

通学距離は、徒歩および自転車により概ね6 km以内。ただし、6 kmを超える場合には、バスなどの通学手段を検討。

③ 通学時間

通学時間については、小学校、中学校ともバス等を利用する場合も含めて、概ね30〜60分程度になるように配慮すること。

「地域の学校教育のあり方を考える会」の設置

多可町教育委員会では、答申に基づき多可町のすべての区で、「地域の学校教育のあり方を考える会」を平成24年7月に設置しました。

この会では、地域の様々な立場から、学校の小規模化とそれに伴う諸課題を地域の問題として共有した上で、以下のことについて、協議していただいています。

(1) 区内の小学校の規模の適正化に向けた具体的な方策

(2) 多可町内の中学校の規模の適正化に向けた具体的な方策

現在、全ての区で地域の学校教育のあり方を考える会を既に2回以上開催し、子どもたちのためにどうすることが一番よいことなのかを考えていただいています。

また、加美区ではPTAを対象に、八千代区ではPTAや校区住民を対象に懇談会も開催して、その意見を

十分反映しながら協議を進めていただいています。

地域の学校教育のあり方を考える会の委員は、区長会、地域協議会、PTAの代表の方々、学校園長です。事務局は教育委員会でも未来課です。ご意見等がありましたら、学校や子ども未来課までお知らせください。

地域の学校教育のあり方を考える会で、25年9月頃を目途に、学校規模適正化についての意見書を各区ごとにまとめていただく予定です。

多可町教育委員会では、この意見書の内容を十分に尊重しながら、多可町小中学校規模適正化基本計画を策定していきます。

終わりに

多可町教育委員会では、多可町の児童生徒数の減少や数年後には複式学級のある学校が出てくるという状況を保護者や住民の皆さんに知っていただき、子どもたちのためにどうすることが一番よいことなのかを一緒に考えていただければ幸いです。

ぷ学校園



中町北小学校



平成17年に施行された食育基本法で、「子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくためには、何よりも「食」が重要である」と定められました。学校においても積極的に取り組むことが求められています。

本校では、左表のように年間計画を定めて取り組んでいます。指導に当たっては、栄養士や栄養教諭、歯科衛生士の方にお世話になっています。また、学校農園で採れた食材を使つての調理や、給食

「食育」に取り組んでいます

平成24年度 食育年間計画

月日	学年	内容
6月19日	1・2年	赤・緑・黄のたべもの
6月21日	6年	お口の中の健康
6月29日	PTA	給食試食会
7月6日	3年	よくかんで食べよう
11月26日	4年	歯について知ろう
11月30日	3年	じょうぶな骨をつくらう
1月23日	6年	献立を考えよう
1月28日	4年	おしっこから分かること(塩分)
2月1日	PTA	PTA会員研修(親子で考える食)
2月27日	5年	おやつのお食べ方・選び方



「子どもの頃からたくさんカルシウムを取らなくさんカルシウムを取らないといけないことを知りまいた。毎日早くすいみんすると、ほねの成長が早くなることや、牛乳はカルシウムがたくさん取れることを学習しました。」3年

「ぼくたちが普段飲んでるジュースには、砂糖がいっぱい入っていること、その砂糖を求めてくるミュータンス菌が虫歯の原因になっていることが分かりました。」6年

「今日、食育の勉強をして、ぼくの好きなメニューは全部塩分が多いのでビックリしました。」4年



平成17年に施行された食育基本法で、「子どもたちが豊かな人間性を育み、生きる力を身につけていくためには、何よりも「食」が重要である」と定められました。学校においても積極的に取り組むことが求められています。

杉原谷小学校

あたたかい心を育む

～『ともだち集会』の取組から～

杉原谷小学校では子どもたちの人権感覚を磨き、あたたかい心を育む取組の一端として、年に二回の「ともだち(人権集会)」を行っています。

一回目は、七月九日に行いました。兵庫盲導犬協会より指導員と盲導犬「さくら」を招聘し、盲導犬と一緒に生活されている方のお話を聞かせていただきました。

また、目が不自由な方のサポートをするために盲導犬がどんな行動をとるのか、実際に見せていただきました。子どもたちの感想の中には、「盲導犬と一緒に生活するのは、勇気を出して声を掛ける大切さが分かった。」といった感想がありました。



盲導犬のことや目が不自由な方の生活の様子を知ることが通して、みんなが安心して生活して



いくにはどんなことが大切なのかを考える契機になりました。

また二回目は、一月二十八日に行いました。まず、人権ポスター、

人権標語、人権作文などを紹介した後、各クラスの日々の取組を発表しました。お互いの思いを交流する場となり、とてもあたたかい雰囲気を感じられました。最後に、十月の教育講演会でお招きした石田裕之さんの曲「やっぺす石巻」を、被災された東北の方に思いが届くようにと、心を込めて歌いました。

日々、生活を共にしているクラスや友達、学校の仲間など、そばに居る人に『やさしさの種』を少しずつ蒔いていくこと。それが人権感覚を磨いていく第一歩ではないでしょうか。



今後様々な取組を通して、杉っ子のやさしい心、あたたかい心を育てていきたいと思

ぴっくあっぷ



春よ来い!

夢をかなえるために頑張っています

「かっこいい仕事をして活躍したい。」「人の役に立つところで働きたい。」「親の仕事を引き継ぎたい。」など漠然と自分の将来の姿を考えている生徒がほとんどだと思います。義務教育終了後の進路は自分で決めていかなければなりません。三年生にとっては、夢を現実のものにしていくための大切な三学期です。

今日から三学期が始まりました。中学生として最後の学期ですから、卒業までにクラスメイトや学年の子とたくさん思い出ができた方がいいなあ〜と思います。今年が入試という大切な時期なので、入試や卒業に向かってがんばりたいです。

進路に向けての第一歩が高校受験です。四月からの自分の姿を思い描きながら志望校を決め、入学試験(適性検査・面接・学力検査など)を受けるための準備をしています。推薦を希望する生徒には推薦するか否かを校内の推薦委員会で決定し、学校長より一人ずつ伝えました。

今日は放課後に高校の推薦を受けられるかの結果報告がありました。今日は一日中ドキドキして落ち着きませんでした。これからも気を抜くことなく、さらに気を引き締めて勉強や面接の練習に取り組んでいきたいです。残り少ない中で、一生懸命取り組んでいきたいです。

加美中学校

私立高校をはじめ、推薦や特色選抜を受ける生徒など、面接のある高校を受験する生徒は面接の練習をします。面接は初めての経験のため、あがってしまい、声が小さくなったり、答えにまつまってしまうこともあり、練習を重ねるうちに姿勢も良くなり、しっかりと受け答えができるようになりました。



今日は放課後に面接練習がありました。初めてだったのもあり、緊張しました。また明日もあるのががんばります。今日はまだつまってしまっていたので、今日家でお父さんと練習しました。また、今日の練習をふまえ反省点を見つけ、答えを書き直したりしました。

進路決定に向けて生徒も保護者のみなさんも三年生担当職員も一生懸命です。既に進路が決定している生徒もありますが、夢を現実のものにするように最後までがんばってほしいものです。そして、四月からの新しい生活がよいスタートで始められるように応援しています。

伝統文化にふれて

茶道体験と作法教室

キッズブランドやちよでは、三〜五歳児を対象に月に一回程度、茶道体験を行っています。年間を通して、五歳児が主に体験し、四歳児と三歳児は、次年度に向けて数回、体験しています。また、作法教室も年に数回、三〜五歳児を対象に行っています。どちらも地域の方々との協力を得て、講師をしていただき、取り組んでいる活動です。



茶道の挨拶の仕方は...



どんな味かな?

茶道体験や作法教室を通して、日本の伝統文化にふれ、気持ちを落ち着かせる事や相手を思いやる気持ちなどを学んでほしいと願っています。



<作法教室の様子>

玄関での靴の脱ぎ方を教えてもらっています。

挨拶の仕方を教えてもらっています。



キッズブランドやちよ

一月には、三歳児が茶道体験をしました。畳の上に上手に正座をして、講師先生の話をしっかりと聞きながら、茶道のお作法を覚えてもらっていました。初めてでしたが、お辞儀やいただき方など、とても上手にできていました。初めてのお抹茶の感想は、笑顔で「おいしい!」でした。

作法教室では、挨拶の仕方や箸の扱い方、靴の脱ぎ方などを教えていただきました。作法教室で教わったことを普段の園生活でも取り入れていきます。子ども達の中には、教えてもらったことを自分の生活の中で生かしている子もいるようです。これらの活動は、今後も地域の方々にお世話になり、続けて行きたいと思っています。

ぷ学校園



八千代北小学校

響け！八千北鼓笛

本年度の全校児童数は83名。そんな小規模校が全校で取り組む鼓笛隊。これぞまさに八千北小が誇る伝統的取組の一つです。9月の「運動会」での演奏を目標に、早くから練習を開始。夏休みから2学期初めに練習のピークを迎えます。



中・高学年だけでなく鼓笛演奏をするところが多い中、全児童参加で行う本校の鼓笛隊は、他校とはまた違った見応えがあります。今年も、恋田果林（6年生）さんの堂々とした指揮の下、高学年は

鼓隊、中学年は笛隊、低学年はフルブ隊を主に担当し、「運動会」「防火の集い」「地域ふれあい活動」と3つの大舞台で見事な演奏を披露しました。練習過程の中で育まれる連帯感、次第に高まる責任感、そして、大舞台を終えたときの達成感や喜び…そんな経験の中で、目には見えなくても、子どもたちは確実に成長を遂げています。



なが〜い歴史



「新年のあいさつもメールで」という人が多い現在、別にそれが悪いというわけではありませんが…。

八千北小には「八千北郵便局」という活動があります。それは、2年生を中心に年賀ハガキを作成・販売（1枚2円、集まったお金はユニセフへ）し、それを購入した児童・教職員が年賀状を書いた後、「なかよしホール」に置かれた自家製八千北郵便ポスト（学年別）に投函します。その後、住所別に種分けを行い、最後は元旦の朝に届くよう、6年生が各家庭への配達を担当します。このハガキは、切手部分に児童が描いた絵が印刷されているとても可愛らしいハガキです。そんな年賀状をもらった児童たちが、家族と一緒に笑顔で会話をする様子は、想像しただけでも心が温まります。世代を繋ぎ、八千北小に長い歴史を刻み続ける素敵な伝統の一つです。



八千代中学校

武道で伝統を学ぶ

新学習指導要領の平成24年度全面実施にともない、中学校体育授業において武道が必修化されました。

その流れにそって、本校でも剣道用具一式を町で購入していただき、2学期後半から3学期にかけて、体育館を中心に全学年で剣道の授業をおこなってきました。

胴垂れを身につけ背中で紐を結びとめる。日本手ぬぐいを折りたたんで形を整え、頭に当てる。これでやっと面をかぶるまでの準備完了。剣道の経験がほとんどない生徒たちばかりなので、ここま

が大変。授業の初めの頃は、こういった初歩的な、そして基本的なことにはかなりの時間が割かれていたが、ここに武道に入っていくための大切な作法があることを生徒たちは学んだようでした。

さて、やっと面をかぶると次に小手をはめ、竹刀を持つ。もちろん靴下は履かない裸足。胴着でないジャージ姿とはいえない、なんとなく武者に見えるかもしれない凛々しい



出で立ちの少年剣士の完成です。

これでやっと実技に入れますが、ここでも身支度同様に、竹刀の持ち方から振り上げ、振り下ろし、そして足裁き…と、基本の徹底が続きました。

基本をしっかりと習得した子ども達の上達の速さは目を見張るものがあります。5〜6時間目になると、試合が出来るようになります。

ただ、腰が引けていたり、剣道独特の気合いの入ったかけ声はまだの様相ではありますが、「我が固有の文化に触れるための学習」という武道授業の目標は、十分に達成されたのではないかと考えられます。

今後、子ども達が剣道に限らず、多様な我が固有の伝統文化に興味を抱き、親しんでくることが期待されます。





北はりま特別支援

兵庫県立北はりま特別支援学校

〒679-1112 兵庫県多可郡多可町中区間子602-1
TEL (0795) 32-3672 FAX (0795) 32-3967
http://www.hyogo-c.ed.jp/kitaharima-sn/



一校訓
明るく
仲良く
生き生きと

よっしゃ、行くぞー!

冬の寒さがわずかに緩んだ1月30日。恒例の校内マラソン大会をしました。その準備として、3週間にもわたった耐寒かけ足の総まとめです。それぞれの身体のコンディションにあわせて走るコースを選び（最長は3,260m）、熱い声援を受けながら校内と校外の両方で力走しました。記録は11分8秒。これは100m20秒のペースです!



秋の晴天に余暇村にハイキング。秋の風景や高く澄んだ空を楽しみました。(のぞく訪問学級)



加美区へ出掛け雪あそび。雪がたくさんあって思う存分ソリ遊びができました。みんなで協力してミニかまくらも作れたよ。(小学部)

学習発表会。東日本大震災で酪農の仕事を失い人生に絶望して故郷福島を離れざるを得なくなった男が、家族や



仲間に励まされ生きる意欲を取り戻す物語…『あい らぶ ふくしま』(オリジナル脚本)を、生徒たちが熱演しました。(中学部)

3月14日(木)の卒業式をひかえて、もっとも気にかかるのは、3年生の進路先です。卒業後の進路先確保を目指して、本校では1年生の段階から、校内実習・企業実習を積み重ねています。今年度、前期は6月4日～15日、後期は11月12日～22日に実施しました。進路担当は、職場開拓や実習受け入れ先の確保に全力をあげています。その際、多可町内の様々の事業所に多大なるご協力を頂いており、この場を借りてお礼を申し上げます。今後も実習の受け入れをどうぞよろしくお願ひいたします。(高等部)



※写真は校内実習の様子

多可町子ども憲章

わたしたちは、自ら考え行動できる指針としてその目標や理想を定め、子どもは自立に向けて努力し、大人は子どもの自立を支える糧となるよう、ここに「子ども憲章」を制定します

- 一 (未来)
わたしたちは、夢と希望をもち、未来へ向かってたくましく歩んでいきます。
- 一 (友情・思いやり)
わたしたちは、誰とでも親切に接し、みんなが笑顔でいられるようにします。
- 一 (命・人権)
わたしたちは、いじめや差別をなくし、一人ひとりの命と人権を大切にします。
- 一 (責任)
わたしたちは、自分の言葉や行動に責任を持ち、何事にも積極的に取り組みます。
- 一 (感謝)
わたしたちは、家族、友達、お世話になっている人たちへの感謝の気持ちを持ち続けます。
- 一 (マナー)
わたしたちは、マナーを守り、進んであいさつをします。
- 一 (ふるさと)
わたしたちは、豊かな自然に恵まれたこのふるさとを愛し、文化や自然を大切にします。

「多可町子ども憲章」は、多可町に暮らす子ども自身が、自分たちで考え行動する目標として、その理想を掲げたものです。平成19年11月19日に開催された、多可町子ども議会を経て制定され町内の各小・中学校の教室に掲示されています。この憲章は、子どもが自立に向けて努力すると共に、大人のみならず、子どもが自立を支えるために、何が必要か、何ができるかを考えていただく一つの標と考えていただければと思います。

あったかトピック

平成25年1月28日(月)に、文部科学大臣優秀教員表彰式があり、多可町から中町北小学校小林真也教諭と中町中学校石塚優教諭が表彰されました。

小林真也教諭は、図画工作科の指導において、その指導技術が優れ、感性や想像力を生かした図画工作科の授業の工夫に取り組み、意欲を引き出す授業を展開し、多くの優れた作品作りにつながっています。県小中高校絵画展、県造形教育展等の各種コンクールや作品展において数多くの作品を受賞に導いたり、指導した児童の作品が教科書に掲載されたりするなど、大きな成果をあげられています。また、長年、多可町図画工作科の代表幹事として、図画工作教育、教員の資質や指導力の向上にも大きく貢献され、各種展覧会の審査員も務められています。

石塚優教諭は、技術・家庭科教員として中学校で学習指導の工夫改善に努められ、情報教育の研修でも指導的役割を果たす等技術科教育に大きく貢献されています。また、長年、特別支援学級担任として、個々の生徒にあわせた指導を継続的に行われています。特に生徒の興味・関心を呼び起こすため、教材や教具等を工夫した授業を行い、社会生活の自立を目指した指導に取り組まれています。



この度の受賞を大変嬉しく思います。造形教育にかかわっていただいた多くの方々、また指導いただいた諸先輩の皆様への感謝の気持ちでいっぱいです。今後子どもたちの豊かな感性を育むべく取り組んで参ります。



教職に就き32年。多くの方々のご指導により、今に至ることができたと思っております。今回このような表彰の機会を与えて下さったすべての皆様に感謝いたします。

児童館でお菓子の家を作ろう

2月17日(日) 中区高岸にある中児童館でお菓子の家を作ろうが行われました。この催しは毎年人気の行事で今回も20名の募集に対し応募はなんと60人以上!!



児童館の竹中先生の指導により、参加した子ども達は、ウエハース、ビスケット、チョコを使って壁や屋根を作り、作業を進めます。中学生ボランティア11名も子ども達をサポート、夢の建築作業に一役かきます。



子どもたちは、崩れやすい材料の扱いに四苦八苦しながらも、急ピッチで作業を進め約二時間で、夢がいっぱい詰まった自分たちのお城を完成させました。



参加した子どもたちは作り上げたお菓子の家を前に目を輝かせ「こんな家に住めたら最高!! 幸せっ!!」と楽しい想像を膨らませていました。主催した児童館の先生方は、今後も子ども達の成長を願い、感動と達成感のある催しを企画していきたいと話しておられました。



※ご意見・ご感想をお寄せ下さい

【お問い合わせ先】 多可町教育委員会子ども未来課 TEL:0795-32-2385 FAX:0795-32-4142 E-mail kodomo@town.taka.lg.jp